

オリーブの会通信

2012年1月7日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0078 高松市今里町一丁目 499-2
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



ひきこもり講演会 & 座談会のご案内

(第115回月例会) 詳細は同封録のチラシ参照

日 時	2012年1月22日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 2F (研修室) 高松市田村町 1114 番地 電話 087-867-7686 <u><注意> いつもと場所が異なります。</u>
内 容	13:30~ 開会 挨拶 13:35~14:45 : 講演 テーマ「親の焦り」 —長期間ひきこもる子と向き合うには— 講師：NPO 法人エルシティオ 理事長 金城 清弘 (きんじょう きよひろ) 氏 休 憩 (15分) 15:00~16:30 : 講師を囲んでの座談会 (テーマ他について)
参 加 費	・会員 1家族 500円 ・非会員 1家族 1,000円

寒中お見舞い申し上げます

昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。

当会も、多くの方々のご支援をいただきながら現在に至っております。特にKHJ親の会前代表 奥山雅久氏（故人）は、ひきこもり支援の推進、また多くの当事者、家族に身を以って自分らしい生き方を示されてまいりました。そして1月21日（土）一周忌追悼記念講演会が開催されます。演題は「脳と心を知った生き方」、講師は奥山雅久氏が最後に入院された病院の 帯津良一先生（医学博士、帯津三敬病院名誉院長、日本ホリスティック医学協会会長 他）です。（開催場所：北とぴあ13階飛鳥ホール 東京都北区）

去る12月17日（土）には石川清氏を講師としてお招きし親の学習会、翌18日（日）の月例会においては、長期ひきこもり支援について氏の長年にわたる支援の実体験に基づく貴重なお話を聴くことができました。（講演内容の概略は3ページに掲載）

1月22日（日）午後のひきこもり講演会についてはご案内のとおりです。ひきこもり期間が長期に亘ると「焦り」がでてきますが、その間当事者とどう向き合っていけばいいのか、ひきこもり家族や当事者の若者の支援を様々な手法で実施されている金城清弘氏をお迎えしての講演会となっています。

また、午前の講演会についても、ひきこもりの若者の社会参加を支援する共同作業所づくりから、実践をとおしての内容になっています。県内に当事者のための作業所を開設することは私たちの長年の願いでもあり、この度の機会がその気運の一層の盛り上がり、開設に至るまでに欠かせない学習の最良の機会であると考えます。午前の講演会は、きょうされん香川支部主催ですが、是非多くの方々の出席を期待します。（詳細は同封の助走のチラシ参照）

オリーブの会は当事者を持つ親が会員であり、「誰かがやってくれる」会ではなく、「みんなで行っていく会」であります。

本年もご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

—補足—

①（講師略歴）和歌山市立小学校長退職後、和歌山大学講師、県教育相談センター相談員を経て現在に至る。

※現在、和歌山県において、ひきこもりの若者の社会参加を支援する共同作業所を運営、ひきこもり家族や若者を中心とする対象者に様々な支援を行っています。

②講師を囲んでの座談会には、講師に随行する施設スタッフ1名が参加する予定です。

—食事会—

1月21日（土）食事会については12月の例会時に周知いたしましたが、金城先生との食事会（夕食）を予定しています。時間・場所・会費等は人数が確定次第お知らせいたします。参加ご希望の方は090-4332-3288（川井）までお電話ください。締切 1/15（日）

【12月例会（12/18）の報告】（概略） 参加者：30名

- 川崎崇司精神保健福祉相談員（小豆総合事務所保健福祉課）が前月に続きご参加されました。

テーマ：「長期ひきこもり支援の間違いや落とし穴」資料あり

－ 失敗から学ぶ成功の秘訣 －



講師： NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会 家族教室 朝霞
ルーム主宰・訪問サポート士
フリーライター 石川 清氏

- ◎自身は関東地方で生まれたが、その後子ども時代に父親の仕事の関係によりフィリピンで生活、大学卒業後最初の勤務地沖縄で約3カ年、フィリピンは大学生時代にも一定期間生活をした。
- ◎現在、引きこもり支援に関しては月に1回の家族会、個別相談、若者会との関わりのほか訪問サポートを行っている（累計訪問件数：約70件）。このうち引きこもりから約50%の方が脱出することができた。
- ◎自分の訪問の目的は当事者およびその家族が抱えるあらゆる問題を解決、または改善のために相談することである。このため、重篤なケース程孤立化している現状から、支援からの落ちこぼれを無くするため考えられるあらゆる手段を駆使して最善の対処方法を考えている。資格や専門の領域に限定されることなく自由な発想・手段を選択できている。
- ◎自分の支援方法の特徴としては、「治癒期間（前期）」の対応として国内では主に沖縄諸島や奄美諸島、海外ではフィリピン、タイ、ビルマ、ミャンマーなど多数の国々にネットワークを有しているため当事者に最もふさわしい所を選択し一定期間そこで生活してもらうということがある。これは現在までの環境を一度リセットして、これまでなかなか修復できなかったバランスの崩れの修復と併せ、人間的な成長・成熟を図ると共に、異なった環境下であればこそ可能となる様々な経験と自信の獲得をしてもらうことを目的としており成果を上げている。
- 費用面は思いの他抑えることができ、当事者が滞在可能であることを見極めるまでは自分もそこに同行・滞在する。とはいえ拙速な行動開始は危険であるため基本的には当事者と1年以上の接触をもった後、最善と思われる方針を立案する。
- 当事者に先立って、まずは両親が（基本的にはどちらかの親1人、しかもグループを作らずに単独で）現地で滞在体験をすることをお勧めする。
 - － 上記に関しては参加者の関心が非常に高く、講師に具体的方法を熱心に質問する方々がおられました。－
- ◎訪問支援のコツは、支援者自らが先ず当事者が置かれている真実な状況を把握することが重要であり、その状況、程度に応じた対応が望まれることはもとより、回復へのステップも状況に即した方法、スピードをもって対処することが肝要である。いうまでもなく支援者が当事者に信頼を得ることは大前提となる。

ステップとしては、「コンタクト期」→「治癒期間（前期）」→「脱引きこもり期（中期）」→「成長・発達期（後期）」→「テイクオフ期（家離れ、親離れ）」→「経過期間（リバウンド回避など）」に区分することができ、内「経過期間」のリバウンド回避のためには3カ月に1回はコミュニケーションの機会を持つことが必要と考える。

各ステップに共通して欠かせないものは、安心感、希望、出会い、成長の喜びなどである。

- ◎支援・回復の落とし穴として、今まで大切なこととして学習してきたことが形式化していないか再点検が望まれる。
- ・「声かけ」が大切でることは否定しないが中途半端な声かけよりも、家の中のストレスの緩和・コミュニケーションの促進が大切であり「情」に意味がある。
- ・荒れる若者よりも荒れない若者（信号を出さない・意思を示さない）に対しての支援が難しい。
- ・専門家・専門機関は重篤な引きこもり程相手にしないケースもある。
- ・ひたすら就労を目的とした支援、居場所への誘いは、当事者にとっては逆効果になる場合もあり百人百様の脱引きこもりへの道を選択することが望まれる。
- ・感情や心身機能が回復期に入ると一時的に状態が悪化するケースが少なくない。これは言葉を変えると「順調な悪化」でありこれを冷静に受け止めることが必要である。
- ・よく言われる「無理なく少しずつ計画を立てて改善」、しかし、これだけでは良くなるケースもあり、いかに「自信回復」するかが重要であり「一発逆転の発想」も場合によって必要。

以 上

【パソコン教室・ポパイの会 1/29（日）】

今月は支援員のAさんとISIS神戸のBさんが来られる予定です。おしゃべりだけの参加でもかまいません。一步踏み出して仲間とつながってみませんか。

【お遍路さんのお土産作りの状況】

◇たんぼぼの風企画さんのお土産作りのお手伝い

12月3日（土）たんぼぼの風企画より石原代表はじめ2名が来られ当会の役員会との協議を致しました。冒頭、当会の協力に対して感謝の言葉が述べられると共に今後も引き続き協力の依頼がありました。当会としてもこの事業への協力を通して当事者及び家族にとって意義があったことが確認されており、今後も協力を継続していくこととしています。

その後、新製品の開発の説明・作業手順の指導があり早速、製品部材を自宅に持ち帰られた方もありました。なお、12月24日の四国新聞にこの事業に関する掲載がありました。製品名は「杖のあと」、1月中旬からさぬき市内2カ所で販売が開始される予定とのことです。絵手紙については会員の皆さん及び若者の協力を引き続きお願いいたします。

【おしらせ】

●家族教室の開催について

- 日 時 1月11日(水) 13:30~15:30 (主催:香川県西讃保健福祉事務所)
 - 場 所 香川県三豊合同庁舎 1階会議室
 - 対象者 子どもがひきこもりで悩んでいる家族等
 - 内 容 学習会 テーマ「体験と気づき」並びにグループミーティング
- ※当会(高松)からも2名参加予定です。西讃地区の会員の方は是非ご参加ください。

【1月 居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第9回オリーブの会運営委員会	7	土	13:30~	川井
個人カウンセリング(松田 勝先生)	14	土	9:00~	加藤
ポパイの会 パソコン教室	29	日	13:30~	井上

次回【116回月例会の予定】

日 時	2012年2月26日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 研修室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	一部 2012年度 会運営について (予定) 二部 グループ別話し合い
参 加 費	○一家族 500円(会員) ○一家族 1500円(非会員)
担 当 G	Aグループ

【公開講演会】主催:KHJ 高知県やいろ鳥の会

日 時	2012年1月15日(日) 13:30~16:00 (開場13:00)
場 所	男女共同参画センター ・ ソーレ 高知市旭町3-115 088-873-9100
内 容	テーマ 『若者の生きづらさと自己肯定感』 講師 高垣忠一郎 立命館大学大学院教授
参 加 費	○無料 (高知県地域生活支援基盤強化事業費補助金により開催)